



梅田中だより

<第8号>

7月

授業参観及び保護者会ではお世話になりました。

7月6日(火)には、1学期の授業参観と保護者会を開催いたしました。たくさんの保護者の皆様にお集まりいただき、ありがとうございました。

今回、授業参観の時間には、学校で毎年1回実施している「情報モラル講習会」を子供たちと一緒に聞いていただきました。学校でも一人に1台のタブレット端末が配備されました。これからの社会は、ますます、情報の扱い等に配慮する時代になりそうです。ぜひ、今回の講習会での話題を、ご家庭でもお子さんと一緒にしていただけたらと思います。

また、保護者会では、各学年における1学期の生活の様子のほか、学習面等の今後の課題と対策等も話題になっていたことと思います。これから始まる夏休みを活用して、お子様の大きな成長に役立ててほしいなと思います。これまでの学校生活等で、何か心配なことがありましたら、いつでも担任や学校にご相談ください。



3年生の保護者会の様子から

情報モラル講習会を実施しました。

7月6日(火)に梅田中学校体育館において、情報モラル講習会を開催いたしました。現在、多くの中学生が自分専用のスマートフォンを所持しています。

今後、さらに、さまざま情報を瞬時に得られる優れた情報端末として、利用が進むと思います。しかし、その使い方を誤ると、取り返しのつかない後悔をすることにもなります。この講習会の3日前にも、県内の女子中学生がSNSで知り合った男性に誘われ、会いに行ってしまう事案がありました。また、ツイッターに誹謗中傷を掲載され、それを苦にして自殺をしてしまった女子プロレスラーの話題もありました。大変、ショッキングな事件でした。しかし、SNSやLINE、ツイッター等は多くの子供たちが使用しています。今後、大切な子供たちが、このような被害に巻き込まれることのないよう、しっかりと学校でも指導をしていきたいと考えています。今回の講師には、NPO法人「ぐんま子どもセーフネット活動委員会」の公認インストラクターである、丸山道慶先生をお招きして、友達との情報のやりとりの際には、どのような点に気をつけるべきか、また、スマートフォン使用時の注意事項を丁寧に説明していただきました。丸山先生からお話をいただきましたが、問題となるのは特定のゲームやアプリではなく、インターネットを使う場面における、使用する人のモラルの向上だそうです。そして、使用にあたり、特に次の3点に注意してほしいと話をしてくれました。



丸山先生のお話しを熱心に聞く子供たち

- ① 全世界の方とつながるということを意識してください。知らない相手とも瞬時につながり、自分の個人情報伝わりやすくなります。不用意に相手を信じて、相手の実態がわからないまま、会う約束をしては絶対にいけません。
- ② 友達へメールを送る場合には、必ず内容をよく考えましょう。あわてて送ってしまうと、送ってから、内容を取り違え、誤解が出てトラブルになってしまうことがあります。
- ③ 長時間、You-Tube やゲームに熱中してしまい、夜更かしをして睡眠不足になったり、視力が悪くなったりするなど、健康にも影響が出ている人が増えているので気をつけましょう。

※生徒たちが講演を聴いた後に書いた感想から、次のような点に気づいてもらえたと思います。

- ・正しい情報なのか、大丈夫なものなのかをちゃんと判断できるように気をつけていこうと思った。
- ・ネットの中には、どのような人がいるかわからないから、気をつける。
- ・インターネットを使いすぎると勉強にも支障がでることがわかった。1日に使う時間を考える。
- ・使いすぎは視力が落ちたり、姿勢が悪くなることがわかった。

この講演会を通して、インターネットとの付き合い方について、あらためて学んでもらえたようです。ぜひ、ご家庭でも、お子さんと機会を見つけ、話題にあげていただければと思います。

授業の様子をのぞいてみました。その2 2年生

今回は、2年生の授業を参観させてもらいました。ちょうど国語の授業で書写に取り組んでいました。教室は、水を打ったように静まりかえり、どの子供もとても集中して、半紙に今回のお題の「永久」の字をしたためていました。



納得のいくまで練習をする子供たち

2年生の子供たちが、まだ、1年生だった頃3学期の始業式後に、書き初め大会で書道をしていた頃のことを思い出します。あの時と比較すると、ずいぶんと上達していると感じました。

何度も納得のいくまで筆を走らせ、仕上げた作品の中で、一番のできと思うものに名前を書き入れて、ベスト作品を選びました。

どの作品もすばらしく気持ちがこもっており、一生懸命に仕上げたことがよくわかります。何かと忙しく、子供たちもせわしなく学期末を迎えようとする中ですが、ゆったりとした時間が流れ、とても心地のよい教室空間でした。



集中して書に臨む子供たち

指導主事訪問が終了しました。

7月2日(金)は、指導主事訪問日でした。私たち教職員も、日々、自分自身の指導技術の向上に向けての、努力が必要です。今回の指導主事訪問には、桐生市教育委員会学校教育課より星野裕之指導主事と桐生市教育研究所より坂口尚子指導主事の2名の指導主事の先生をお招きして、教員としての資質向上に取り組みました。

今回は研究授業として、音楽担当の関口教諭が、シューベルトの魔王を題材にして、曲の特徴を理解するのに、旋律や音色、さらには音の強弱に注意しながら鑑賞していく方法を指導しました。



ペアでコミュニケーション力を磨きます

また、国語担当の小林教諭は、俳句を題材にして、作者の気持ちや情景を想像する方法を指導しました。

研修主任を務める英語担当の松田教諭は、授業の中でタブレットを活用し、子供たちのICT機器を使った学習を進めました。

どの授業においても、担当教科の教員が工夫を凝らし、「子供たちにとって、よりわかりやすい授業とは」をテーマに、授業改善に取り組みました。

今回、研究授業を行ってくれた関口教諭、小林教諭、松田教諭の授業を参観した各々の職員が、各授業について意見交換を行いました。お互いに授業の中で、子供たちの理解が進んだ点、疑問が残った点、そして改善点などが話し合われました。

最後に、指導主事の先生方から、今回の授業の総括を具体的にお話しをしていただき、研修会を終了しました。私たちも一日、気持ちが張りつめ、緊張した時間を過ごしましたが、あらためて、教員として授業改善の大切さと、指導力の向上に向けた決意が強くなり、とても素晴らしい一日となりました。この研修会の成果は、今後、子供たちに還元していきます。



集中して鑑賞を行う子供たち



タブレットもどんどん使用が進みます



梅田中学校 学校通信 「梅田中だより」 <文責 阿部 誠二>

TEL 32-1018 , FAX 32-1039

URL <http://www.kiryu-umeda-j.ed.jp/>

上のQRコード又はURLから梅田中学校のWebページをご覧ください。

※ ホームページの更新を随時しております。写真もカラーで掲載しておりますのでご覧ください。